

トップ対談

服部 真二 × 松任谷 正隆

# セイコーの 企業価値とは

セイコーは、時計や精密機器、

電子部品などを製造・販売しています。

しかし、世の中に送り出しているのは、  
製品やサービスだけではなくありません。

創業以来130年にわたって時を刻み、  
時に携わってきた会社として、

また、時代を見続け、

文化を発信してきた会社として、

さまざまな企業価値を形成してきました。

音楽プロデューサーとして活躍する

松任谷正隆さんをゲストに招き、

セイコーならではの企業価値について、

当社の会長兼グループCEOである服部真二と  
対談をしていただきました。



服部 真二

セイコーホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼グループCEO

1975年慶應義塾大学経済学部卒業。  
84年精工舎(現セイコークロック  
ク(株)・セイコープレジジョン(株))  
入社。2001年セイコープレジ  
ジョン(株)代表取締役社長。03年  
セイコーウオッチ(株)代表取締役  
社長、現在に至る。10年セイコー  
ホールディングス(株)代表取締役  
社長。12年同社代表取締役会長  
兼グループCEOに就任。



松任谷 正隆

音楽プロデューサー、  
モータージャーナリスト

1974年慶應義塾大学文学部卒業。  
20歳からプロのスタジオミュ  
ジシャンとして活動を開始し、  
キャラメル・ママ、ティン・パン  
・アレイなどのバンドに参加。その  
後アレンジャー、プロデューサー  
として、多くのアーティストの  
作品に携わる。また、モーター  
ジャーナリストとしてもテレビ、  
雑誌などで活躍。日本カー・オブ  
・ザ・イヤーの選考委員でもある。

本質へのこだわり、積み重ねが  
モノづくりの基盤

**服部** 私にとって最初の腕時計は、中学1年のときに買ってもらった「セイコー・スポー  
ツマチック5」。今でもはつきり覚えていています。

**松任谷** スポーツマチック5は僕も初めて手に入れた腕時計です。自動巻きなのに、リッ  
ウズが見えなくて、これはいったいどうなっているんだろうと思って。それからもう強  
烈に欲しくなって、あの手この手を使って親にねだったのを覚えています。セイコーの腕  
時計は、ニコンのカメラ、パイロットの万年筆などと並んで僕にとって特別な存在でしたね。

**服部** それから数年後の1969年に発売した世界初のクォーツウオッチ「クォーツアス  
トロン」は、腕時計の概念を変えたといわれました。

**松任谷** それこそアナログの銀塩カメラがデジカメに、レコード盤がCDに変わった以上  
の大きな変化でしたね。腕時計はそれまで憧れの存在でしたが、クォーツの登場で、誰で  
も手に入れることができる高品質な美用品へと変わっていったと思います。

時間精度を飛躍的に向上させたこのイノベーションによって、セイコーのように腕時計  
の本質を追求するメーカーと、宝飾性にシフトするメーカーに大きく二極化していったよ  
うに思います。

**服部** そうですね、当社の130年は技術革新、イノベーションの連続でした。そして今、  
我々が一番力を入れているのが、今年発売した「セイコーアストロン」です。

「セイコーアストロン」は、1969年に「クォーツアストロン」として世に送り出したク  
ォーツ時計に、ソーラーとGPSの先進技術を組み合わせ、セイコーが作りあげてき  
た腕時計の集大成といえます。電波時計は電波塔がないと正確な時刻修正ができませんが、  
これはGPSですから、どこへ行ってもボタンひとつで時刻が合うんです。40〜50年に一  
度の革命、「クォーツアストロン」に次ぐ第二の革命だと考えています。

**松任谷** 「セイコーアストロン」は、セイコーの王道といつか本質が見えたような気がし  
ますね。僕は個人的に腕時計の価値は宝飾性ではないと思っています。宝飾性を求めるの  
であれば、宝石を買えばいいじゃないですか。僕の中でセイコーは正確・精巧をずっと追  
求してきたイメージがあるんです。腕時計にとって一番大切なものへのこだわりはぶれて  
いないのですね。



セイコー アストロン

地球上のあらゆる場所でいつでもすばやくユーザーの位置情報を特定し、  
現在地時刻を取得する、世界初のソーラーGPSウオッチ。世界中の全  
39のタイムゾーンに対応し、ユーザーが時差やタイムゾーンを知らない  
時も、ボタン操作ひとつで、いつでも正確な「時」を得ることができる。



高級機械式腕時計ムーブメント

セイコーは、主要部品の開発・設計・製造・組  
立を自社で行うことで、高品質な時計を自らの  
手で作りあげることのできる数少ないマニュ  
ファクチュールとしての地位を築いてきた。卓  
越した匠の技が、その高品質を支えている。





和光をセイコーブランドの顔に  
竣工 80 年を迎えた時計塔。「SEIKO」のロゴを掲げ、和光本館は  
グループの情報を発信する旗艦店へとリニューアルした。

トップ対談  
服部 真一 × 松任谷 正隆



「持ち主と一緒に  
歩んだ歴史が感じられるのが  
本物の一生モノ」

「お客さまの一生モノに  
選んでいただけるような製品を  
提供していきたい」

**服部** こうした先進技術と、機械式腕時計製造の長い歴史のなかで培ってきた匠の技を融合した、本質へのこだわりの積み重ねがセイコーのモノづくりの基盤となっています。セイコーは、主要部品の開発・設計・製造・組立を自社で行い、高品質な時計を自らの手で作り上げることのできる数少ないマニファクチュールなんです。

**松任谷** 我々の音楽づくりとも通じるところがありますね。一つひとつの音色やフレーズにこだわって、曲をつくり上げていくという考え方。もちろん全体像を見るけれど、細部に妥協せず細かいものを積み重ねていくのは、日本人独特の発想なのかもしれませんね。

## 日本の「時」を刻んできた セイコーブランド

**服部** 私が小学生の頃、当社の製品は海外ではまだ知名度が低かったのですが、東京オリンピックの公式計時を務めたことで、世界に知られる存在となりました。高い精度の計測技術を世界にアピールすることで、信頼性の高い企業ブランドを確立していったのです。今でも、世界陸上をはじめとした多くの大会で計時支援を行っています。このようにセイコーブランドにはスポーツのイメージがあると思うのですが、松任谷さんはどのようにとらえていらっしゃいますか。

**松任谷** 僕にとつてのセイコーのイメージは、「ゆく年くる年」で流れていた銀座の和光の時計塔なんです。あのセイコーの時計で僕らの時間が刻まれているような、自分たちの一日のページがめくられていくような感覚がありました。和光は銀座の顔ですが日本の顔でもある。セイコーの時計が日本の時間のページをめくっているというイメージがあります。これは外国の時計にはない感覚だと思います。

## 進みながら、脈々と続く哲学は変わらない

**服部** 2012年は、皆さまに親しまれてきた時計塔が竣工してから80年になります。その前年2011年に和光をグループの情報を発信する旗艦店へとリニューアルし、セイコーの腕時計をどのお店よりも幅広く揃えた「セイコーサロン」をオープンしました。

和光のお客さまはシニアの方々を中心ですが、伝統である「おもてなしの心」を大切に守りながら若い世代のお客さまにも気軽に立ち寄りいただける空間づくりをめざしています。

**松任谷** 脈々と続く大切な伝統、哲学は守りつつ、時代にあわせて進んでいきたいですね。商品やサービスに対する価値観は一緒ではないので、長く続く伝統に若い世代が憧れたり背伸びをしたりする場面もあるはずですが。

**服部** 今のお話で思い出したのは、4、5年前、30歳くらいの女性がブランドセイコーをしていたことです。若い女性が持っているのは珍しいので聞いてみたら、「おばあさんにもあった」と言っています。



### 感動の瞬間をサポート

セイコーは1964年開催の東京オリンピックで初めて公式計時を務めた。その後、トップアスリートが集結する世界陸上や、市民ランナーが憧れる東京マラソン、大阪マラソンの公式計時を担当。陸上のみならず水泳やスピードスケートなどの競技でも、最新の計測技術を駆使した計時支援を行い、感動の瞬間をサポートしている。



- 01 トップ対談  
セイコーの企業価値とは
- 07 特集 お客さまとの新たな出会い
- 09 グループ概要
- 11 事業紹介
- 15 企業価値の系譜 セイコーの130年
- 16 SEIKO 130 Actions
- 21 セイコーホールディングスグループのCSR
  - 23 コーポレート・ガバナンス
  - 25 お客さまとともに
  - 26 お取引先とともに
  - 27 社員とともに
  - 29 地域・社会とともに
  - 31 環境保全の課題解決に向けて
- 34 社長メッセージ  
社会に信頼される会社であるために



#### ソリューション事業の展開

タクシーや訪問販売などのカード決済を可能にした日本初の無線決済サービス「CREPICO(クレピコ)」を展開。さらに各種電子マネーなど非接触IC用端末の開発やデータセンターにおける情報処理など、ネットワーク社会をより安心・快適にするためのソリューションを提案している。



#### 車載用の高付加価値電子部品

自動車のパワーステアリングやエアバッグ、トランスミッションなどの作動に関わるICには、高い信頼性が求められる。長年にわたって培ってきた高い技術が、安全・快適を追求する車の進化を支えている。



「今の時代を生きながら  
理解できるのが半歩先の提案」



「常に時代の半歩先、  
一步先を行く」

**松任谷** それはすごくおしゃれですね。おばさんから受け継いだ、おじいさんからもらった、それが時を刻み続けているっていうだけで、何百万円出して高い宝飾時計を買うよりもかっこいいと思いますね。最近、僕は「一生モノ」の定義を変えたんです。使わないで飾っておくようなものは一生モノと呼ばない、好きだからどんな使って、持ち主と一緒に歩んだ歴史が感じられるのが本物の一生モノです。セイコーはそういう存在だと思いますよ。

**服部** これからもセイコーブランドを大切に、時計に限らず、お客さまの一生モノに選んでいただけるような製品を提供していきたいですね。私はいつも事業会社を超えて「横に走れ」と言っているんですが、それも結局はブランドをさらに進化させて広げていきたいからです。社員一人ひとりが誇りあるセイコーブランドのために働くことができるように、グループCEOである私が中心となって、社内環境を整えていきたいと考えています。

#### ハードにソフトやネットワークを 組み合わせたソリューション

**服部** セイコーは現在ウォッチに続く第二の事業として電子部品に力を入れています。その中心は半導体で、例えば自動車の電装機器全般に使用されるメモリICなど、車載用の高付加価値製品を自動車関連メーカーに提供しています。松任谷さんはモータージャーナリストでもおられますが。

**松任谷** 車の社会はこれからドラスティックに変わっていくと思いますよ。電気自動車が腕時計のクォーツに近いような存在で、車の考え方が変わっていく。自動運転が進み、エンジンの統合制御やIC関係がすごく重要になってくる。さらにそのインフラ、つまりネットワークみたいなものがあつて初めて安全に自動運転が行われていくのでしょね。セイコーにとって大きな可能性が拓けてくるのではないでしょか。

**服部** ネットワークといえばウォッチ、電子部品に続く第三の柱として、情報端末などのハードにソフトやネットワークを組み合わせたソリューション事業を展開しているこうと考えています。エネルギーの自動管理、レストランのオーダリングシステムやタクシーの料金決済システムなど、すでに実用化されている技術や製品もあります。

#### 常に時代の半歩先、一步先を行く

**松任谷** ご存知のように音楽の世界では、ネットワーク配信がメインになってきましたよね。若い世代にとっては、ネットワークで配信される音楽がポピュラーになっています。でも、その一方で、ライブやフェスが盛んになっているように、自分たちが足を運ばなければ手に入らないリアルな音楽との二極化も進んでいるようです。

**服部** セイコーは、東日本大震災の被災地をサポートする「SEIKO 130 Actions」というプログラムを展開しているのですが、その一環で私も被災地に出向き、チャリティーコンサートでミュージシャンの方々とステージに立たせていただきました。やはり音楽は人々を勇気づけることを実感しましたね。

**松任谷** なんとなく心の中にふっと明かりをつけるようなものが音楽かもしれないですね。音楽は共通言語なので、人々の共感を呼ぶ大きな存在になりますよね。

**服部** 私たちがつくる製品やサービスも共通言語であり、常に人々の共感を呼ぶものでなければならぬと感じています。そのためには、何がこの先大事になるのかを考え、創業者・服部金太郎の言葉にあるように「常に時代の半歩先、一步先を行く」という心構えが大切です。二歩先を行くと予言者になってしまいますから。

**松任谷** それは音楽の世界でも同じですね。半歩先、一步先なら今の時代を生きながら理解できる範囲。二歩先だと理解不能で気持ちが悪いです。これからは時代の半歩先、一步先を見据えた製品やサービスを期待しています。

**服部** 今日は、いろいろとお話しさせていただいて、セイコーがどのようなブランドイメージを持たれ、何を期待されているか改めて認識することができました。これからも、常に進みながらも本質にはこだわって、お客さまの「一生モノ」として選んでいただけるような、時代の半歩先、一步先を行く製品やサービスを提供していきたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。



トップ対談

服部 貴二 × 松任谷 正隆





## 特集 新たな出会いの

お店で、モノづくりの現場で、そして街で。  
お客さまとの新たな出会いを求めて、  
多彩なコミュニケーション活動を行っています。



「和光ショーウィンドウ デザインコンペティション2012」最優秀賞作品  
「木漏れ星」

### 銀座のシンボル、和光をセイコーの顔に

2012年は、銀座のシンボルとして親しまれてきた時計塔が竣工してから80年になります。和光では、お客さまとともに、この記念の年を祝うさまざまなイベントを開催しました。

6月には、1分間、あなたが銀座四丁目の顔になる。をコンセプトに、「時計塔80年記念 ショーウィンドウ体験企画」を行いました。お客さまに和光本館のショーウィンドウの中に入ってもらったとき、ディスプレイの一部になって「セレブレーション&メッセージ」をテーマにした光の演出を体験していただきました。

また、銀座にふさわしく、かつ新しいショーウィンドウのデザインを広く募集する「和光ショーウィンドウ デザインコンペティション2012」を開催しました。250を超える応募作品には、未来のショーウィンドウへの多様な提案があり、ショーウィンドウのあるべき姿を見つめ直す機会となりました。最優秀賞には、排気ガスで曇った都会の夜空に、窮屈に植えられた街路樹の間からわずかながらも輝き溢れる星のあかりを表現した「木漏れ星」が選ばれ、8月から銀座の夜を彩る夏のショーウィンドウとして展示されました。

### モノづくりの現場で、時計職人の仕事を体験

セイコーは、子どもが社会のしくみを学べるこどもの街「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」に街時計パビリオンを出展しています。

2012年は、キッズニアを運営するKCJ GROUP(株)と共催で、小学校4年生・中学校3年生を対象に、岩手県栗石町にある盛岡セイコー工業(株)を訪れ、腕時計の組み立てなどを体験できるプログラム「Out of KidZania セイコー時計職人体験 in 栗石」を開催しました。

盛岡セイコー工業(株)には、機械式腕時計の部品製造から組み立てまでを一貫して行う「栗石高級時計工房」があります。こどもたちは2日間にわたって腕時計のしくみを学び、実際に組み立て作業を体験するとともに、匠の技を見ることができ、工房の見学、時計職人へのインタビューを行いました。参加したこどもたちは、「部品がとても小さいけれども、どれも大切な部品で、一つでも問題があると正確に動かないことを知った」などの感想が寄せられ、「確かな品質」をお客さまへお届けする作り手の想いを感じてもらうことができました。

### 市民ランナー応援プロジェクトを展開

セイコーは、東京マラソンのオフィシャルタイマーとして、2007年の第1回大会以来、毎年ランナーの皆さんをサポートしています。

2012年の大会では、START YOUR TIME! 新しい自分に会いに行こう。というメッセージとともに市民ランナー応援プロジェクトを展開しました。自分の目標タイムを掲げ、それに挑戦していく有言実行ランナーを「TEAM SEIKO」として募集。また、大会当日には走り終わったランナーに自分の完走タイムとメッセージを記入してもらい、それを東京メトロの中吊り広告として掲出して、走り終えた感動を乗客の皆さんと分かちました。

和光本館のショーウィンドウでは、大会で使用するものと同じタイマーを使って特別展示を行い、マラソンコース沿いの銀座四丁目からもランナーを応援しました。



「Out of KidZania セイコー時計職人体験 in 栗石」  
(盛岡セイコー工業(株)でのワークショップ)

## 多くの方に、 「SEIKO」を体験していただくために



大会前 タイマーをイメージした「0:00:00」で  
スタート前の期待感を演出

「市民ランナー応援プロジェクト」  
東京マラソンのランナーが自分の可能性を発見するための企画として、東京メトロ9路線の各1編成で中吊りジャックを実施



大会後 ランナーの完走タイムとメッセージを掲載



「時計塔80年記念 ショーウィンドウ体験企画」

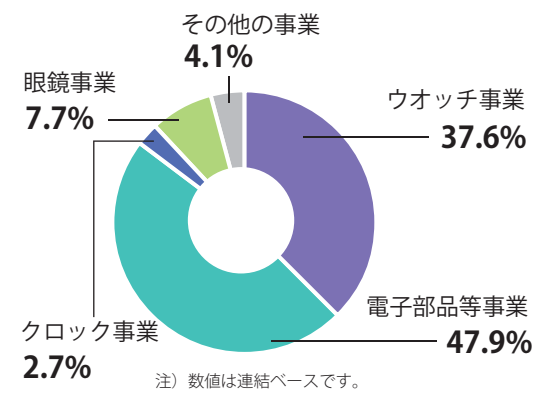


# 世界に広がるグローバルネットワーク

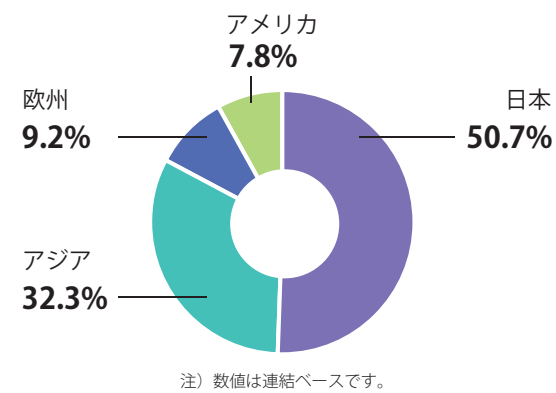


世界各地に製造・販売拠点をおき、  
各国に広がる代理店ネットワークを通じて  
グローバルに事業を展開しています。

事業別売上高構成比 (2012年3月期)



地域別売上高構成比 (2012年3月期)



## セイコーホールディングス株式会社 企業概要

創 業 1881年(明治14年)  
資 本 金 100億円  
従 業 員 数 87名(2012年3月31日現在)  
15,968名(2012年3月31日現在連結)  
営 業 収 益 46億円(2012年3月期)  
売 上 高 2,969億円(2012年3月期連結)  
事 業 の 内 容 ウォッチ、電子デバイス、半導体、クロック、眼鏡、  
高級服飾雑貨などを扱う事業会社の連結経営管理  
本 社 所 在 地 〒105-8505 東京都港区虎ノ門2丁目8-10  
TEL : 03-6739-3111 (代表)

ウオッチをはじめ、電子部品、クロック、眼鏡など、さまざまな事業を展開しています。グループ各社が連携をはかりながら、さらなる飛躍をめざします。

## ウオッチ事業

1913年に国産初の腕時計を発売して以来、革新的な商品を次々と世に送り出し、ムーブメントから自社で一貫製造する世界でも数少ないマニュファクチュールへと成長してきました。これからも世界のウオッチ業界においてリーディングカンパニーとなることをめざします。

### お客さまのニーズに応えるマルチブランド戦略

多様化が進むお客さまのニーズに応えるため、「SEIKO」を中心に国内外で幅広いブランドマーケティングを行っています。1960年の誕生より、常に実用時計の最高峰をめざしてきた高級ウオッチ「グランドセイコー」をグローバルに展開するほか、国内では、国産最高級ブランド「クレドール」、ソーラー電波時計を中心とした男性用のブランド「セイコー ブライツ」、自分らしく生きる女性のための「セイコー ルキア」、また、東京から世界へ新しい価値を提案する、若い世代に向けた「ワイアード」などを展開しています。



グランドセイコー

セイコー ルキア

### 匠の技と先進技術で生み出される高級機械式腕時計

2004年、高級機械式腕時計の需要の高まりに応え、岩手県に「雫石高級時計工房」を設立しました。高級機械式腕時計を専門に、部品製造から完成品の組み立てまでを一貫して行う日本有数の工房です。高精度を支えるミクロン単位でのぜんまい調整、厚み1.98mmの極薄ムーブメントの組み立て、繊細で優美な彫金などの匠の技と、新合金や最先端金属成型技術による部品製造などの先進技術の融合により、最高品質の機械式腕時計をつくっています。



雫石高級時計工房（岩手県）

### 腕時計に新たな革命をもたらす 世界初ソーラー GPS ウオッチ

2012年、世界中の全39のタイムゾーンに対応し、ボタン操作ひとつで地球上のあらゆる場所でいつでも正確な時を知ることができる、世界初ソーラーGPSウオッチ「セイコー アストロン」を発売しました。かつて、セイコーは世界初のクォーツウオッチ「クォーツアストロン」で腕時計の世界に革命をもたらしました。グローバル化が進む現代、地球をステージに活躍する人々に向け、「セイコー アストロン」は、既存の腕時計の概念を覆す、新たな腕時計のスタンダードをめざします。

世界初ソーラー GPS ウオッチ  
「セイコー アストロン」

### 主な事業会社

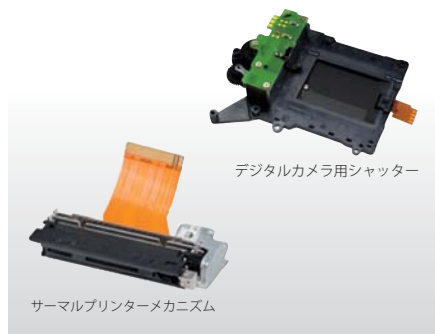
セイコーウオッチ株式会社  
セイコーインスツル株式会社

## 電子部品等事業

時計製造で培った精密加工技術や小型・省電力技術などを活かし、高精度な金属加工部品や電子デバイス、さらに無線技術やITを駆使したシステム機器やソリューションサービスを提供。高度化する社会と産業のニーズに、世界中で応えています。

### デジタル機器の進化を支える

時計製造を通じて育まれたサブミクロンレベルの精密加工技術を活かし、ハードディスクドライブに使われるモーターパーツやピボット、ならびにデジタルカメラ用シャッターなどを提供しています。また、こうした金属加工の現場で培われたノウハウを凝縮した工作機械は自動車部品メーカーなどで多数採用されています。さらに、感熱紙に熱を加えて印字する小型サーマルプリンターは、インク不要でメンテナンス性、静音性に優れ、POSレジや決済端末、医療・計測機器などで多く利用されています。



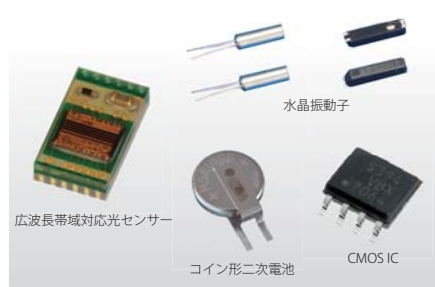
デジタルカメラ用シャッター

サーマルプリンターメカニズム

メカトロ

### 小型化、低消費電力化、高機能化を実現

クォーツウオッチ開発から生まれた電子デバイスは、携帯電話やデジタル家電、自動車などの分野で幅広く活躍しています。CMOS ICや水晶振動子は小型、低電圧駆動、低消費電力で機器の小型化、高機能化、駆動時間の長時間化に貢献。なかでも水晶発振器用ICは世界シェアNO.1、携帯電話などに使われるリチウムイオン電池保護用ICも世界でトップクラスのシェアを誇ります。また、腕時計などに使われるマイクロ電池では、水銀を使わない無水銀酸化銀電池の開発にいち早く成功。環境負荷の低減にも寄与しています。



広域長帯域対応光センサー

水晶振動子

コイン形二次電池

CMOS IC

電子デバイス

### 快適なネットワーク社会に貢献

タクシーや訪問販売でのカード決済を可能にした無線決済サービス、日本データ通信協会の認定を受けた時刻認証サービスなどの情報処理サービスを通じて、人と情報を快適につなぐソリューションを提供しています。また、飲食店でのオーダーテイクを容易にするレストランオーダーリングシステムや、設計図面を出力するマルチファンクションプリンター、屋外看板やポスター印刷用の大型インクジェットプリンターといった機器を提供。確かな技術でお客さまの業務を力強く支援します。



オーダーリングシステム

時刻認証サービス

ワイドフォーマット  
インクジェットプリンター

システムアプリケーション

### 主な事業会社

セイコーインスツル株式会社  
セイコープレジジョン株式会社  
セイコーNPC株式会社



## 小売事業

### おもてなしの心でお客さまに接する銀座の高級専門店

銀座を代表する高級専門店・和光では、時計をはじめ、宝飾品、紳士・婦人用品、室内装飾品、食品など、高い品質を誇る幅広い商品を取り揃え、お客さまとの信頼関係を大切に質の高いサービスを提供しています。銀座四丁目の交差点に立つ時計塔は、2012年に竣工80年を迎え、銀座のシンボルとして多くの人々に愛されています。

#### 主な事業会社

株式会社 和光



国内最大級のセイコーウォッチ売場  
和光本館「セイコーサロン」

## システムクロック／スポーツ機器事業

### 公共の空間やスポーツシーンで活躍

学校・病院などの公共施設で使われる設備時計、街を彩るからくり時計やスポーツ計測機器、大型表示盤やスコアボードなど、システムクロックやスポーツ機器の企画・開発から製造・販売、アフターサービスまで総合的にを行っています。また、各種スポーツ大会の計時支援活動も積極的に展開しています。

#### 主な事業会社

セイコータイムシステム株式会社



羽田空港新国際旅客ターミナルのタワークロック

## セイコーホールディングス株式会社

### スムーズな連携で相乗効果を高める

グループの持株会社として、連結経営管理、法務・知財管理、グループ広報、株主や投資家の方々に向けたIR活動などを担当。一人ひとりが有する専門知識を活かして、各事業会社が効率的・機動的な経営ができるようサポートしています。

また、グループ全体の長期かつ俯瞰的な舵取りを行い、グループの結束力と経営効率を高めるとともに、各社の連携によるシナジー効果の最大化をはかっています。



## クロック事業

掛時計の製造開始より120年。近年では電波時計の新技术に取り組むなど、常に時代をリードしてきました。伝統に支えられたモノづくりの精神と先進技術の融合により、幅広い商品ラインナップを誇ります。

### 企画からアフターサービスまで一貫した体制で取り組む

企画・開発・製造から販売・アフターサービスまでを手がける一貫体制のもと、日本はもとより、香港、中国、タイに生産調達拠点を設け、香港をベースに世界各国に向けた販売活動を推進しています。

### メカクロックから新しい電波時計まで

「電波時計の高精度化」と「クォーツ時計の簡単操作」に「ソーラーのエコ」が加わった新しい電波時計から、高精度で美しい造形美が特長の新開発機械式ムーブメントを搭載した高品位なクロックまで、幅のある商品展開をはかっています。

#### 主な事業会社

セイコークロック株式会社



精度と利便性を両立させた電波時計  
「セイコー ラ・クロック ソーラープラス」



機械式クロック  
「デコールセイコー サムライ」

## 眼鏡事業

90年以上の長い歴史と実績を誇る眼鏡事業。メガネレンズ・フレームの企画から販売までを行っています。最先端の技術と確かな品質で世界の人々に快適な「視生活」を提供しています。

### 歴史に名を刻む数々の「世界初」「日本初」レンズ

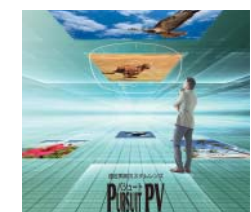
1975年に国産初のプラスチックレンズを、1997年に世界初の内面累進設計レンズを開発するなど、数々の世界初・日本初を生み出してきました。これからも一人ひとりに合わせた「インディヴィジュアルレンズ」を中心とした製品とサービスを提供していきます。

### セイコーおよび各種ライセンスブランドのフレーム

チタンフレームのパイオニアとして、快適な掛け心地と洗練されたデザインのフレームを提供しています。

#### 主な事業会社

セイコーオプティカルプロダクツ株式会社



次世代遠近両用カスタムレンズ  
「ビュートPV」



洗練のメンズフレームコレクション「VERUS」





1913(大正2年)  
国産初の腕時計「ローレル」を発売



1939(昭和14年)  
視覚障害者用時計を宮内省(当時)の注文で製造  
失明した傷痍軍人に支給



1964(昭和39年)  
東京オリンピックで公式計時を務める  
以後、5大会で公式計時を担当



1984(昭和59年)  
日本初の大型からくり時計  
「セイコーマリオンクロック」を設置



2004(平成16年)  
機械式腕時計の一貫生産を行う  
「雫石高級時計工房」を開設



2005(平成17年)  
無水銀酸化銀電池を開発  
水銀による環境負荷の低減を実現



1970(昭和45年)  
大阪万博で世界初の無線  
コントロールシステムを  
採用した電波時計を設置



1987(昭和62年)  
IAAF世界陸上ローマで  
公式計時を務める  
以後、継続して担当

2000

先駆者としての取り組み



1892(明治25年)  
精工舎設立  
掛時計の製造を開始



1930(昭和5年)  
日本初のカメラ用シャッター  
の製造を開始



1969(昭和44年)  
世界初のクォーツウォッチ  
を発売

1970



1985(昭和60年)  
世界初の外食産業用  
オーダーリングシステムを発売



1997(平成9年)  
世界初の内面累進遠近  
両用レンズを発売



1999(平成11年)  
世界初のスプリングドライブウォッチ  
を発売



2012(平成24年)  
世界初のソーラー GPS ウォッチ  
「セイコーアストロン」を発売

技術開発



1881(明治14年)  
創業(創業者 服部金太郎)



1894(明治27年)  
銀座のシンボルとなる  
初代時計塔竣工



1932(昭和7年)  
現在の時計塔  
(現 和光本館)竣工

時計塔の歴史

# 企業価値の系譜 セイコーの 130年



2009(平成21年)  
和光本館が「近代化産業遺産」  
に認定される



2012(平成24年)  
時計塔竣工80年

災害時の対応



1923(大正12年)  
関東大震災  
火災の熱で溶けて損壊した修理預かり  
時計(左)を新品をもって弁済  
(右: 新聞広告で弁済を告知)



1945(昭和20年)  
焼け野原に立つ時計塔  
戦後、ショーウィンドウディス  
プレイやウエストミンスター  
チャイムで街を活気づける

ライフスタイルの提案



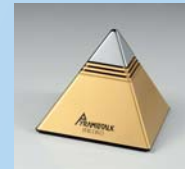
1917(大正6年)  
女性用ブレスレットタイプ腕時計を発売



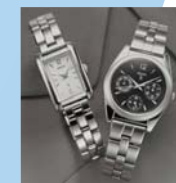
1953(昭和28年)  
日本初のテレビコマーシャル放送  
メディアを通して正確な時刻を知らせる  
「時報CM」を提供



1984(昭和59年)  
音声時計「ピラミッドトーク」  
を発売



1979(昭和54年)  
「なぜ、時計も着替えないの。」キャンペーン  
腕時計をファッションの一部にとらえ  
複数所有を提案



1995(平成7年)  
働く女性のためのウォッチ  
「セイコー ルキア」を発売



2007(平成19年)  
東京マラソンでは第1回大会から  
公式計時を担当し、  
市民ランナーをサポート



写真提供: 共同通信社



2011-2014(平成23-26年)  
東日本大震災復興支援プロジェクト  
「SEIKO 130 Actions」を展開

1995(平成7年)  
阪神・淡路大震災  
仮設住宅用掛時計5,300個を寄贈



# SEIKO 130 Actions

絆

私たちの、思い

ここに貼り出されているのは、和光に関わる人々から寄せられた「今の思い」です。  
店内には、まっさらなシートをご用意しております。ぜひ、あなたの「今の思い」をお聞かせください。  
空間に限りはありますが、できるだけこの場に掲出させていただく予定です。

震災からの復興をめざしたウィンドウディスプレイ (2011年4月～5月)  
和光本館 東ウィンドウでは、被災地や被災者の方々に向けて「私たちの、思い」というテーマで  
お客さまにご記入いただいた多くのメッセージを掲出しました。  
銀座の街全体に元気を取り戻したいという思いも込めて実施しました。

●(株)和光





2012年3月11日和光時計塔で震災の発生した時刻に特別チャームを実施

- (株)和光



岩手県大槌町の小学校へクリスマスプレゼント

- (株)和光
- セイコーオプティカルプロダクツ(株)
- セイコー NPC(株)



職場のメンバー有志で被災者へ支援物資を送付

- 個人
- セイコーウオッチ(株)
- セイコーインスツル(株)



セイコー創業130周年記念特別展で東北の子どもたちの描いたクロックを展示し、寄贈

- セイコーホールディングス(株)



2012 カヌー・スラロームジャパンカップ 第3戦(福島)を無償で計時支援

- セイコータイムシステム(株)



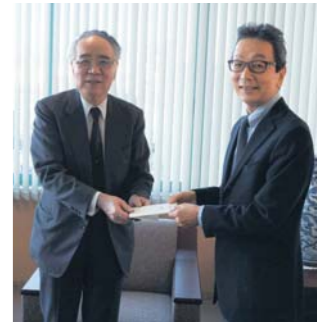
小山事業所文化交流会「東日本物産展」を開催

- セイコーインスツル(株)



東北6県の県鳥の入った「メッセージ入りポストカード」を配布

- (株)和光



「2011年商談会」売上の一部を日本眼鏡販売店連合会へ義捐金として寄付

- セイコーオプティカルプロダクツ(株)



カメラ映像機器工業会の復興支援活動への寄付および協力

- セイコープレジジョン(株)



FCバルセロナ選手のサイン入りクロックオークションを実施、収益を寄付

- セイコーウオッチ(株)



千葉県松戸市で幼稚園 園庭 除染ボランティア活動に参加

- 個人
- セイコーオプティカルプロダクツ(株)



INAC 神戸の選手のユニホームで東日本大震災チャリティーオークションを実施

- セイコーウオッチ(株)



東北の小学校・中学校・高等学校・吹奏楽団へチューナー・メトロノームを寄贈

- セイコーホールディングス(株)



米国サッカー代表ドノバン氏によるチャリティーサイン会を米カリフォルニア州で実施

- セイコーウオッチ(株)



宮城県石巻市で災害ボランティア活動に参加

- 個人
- セイコー NPC(株)



静岡県駿東郡小山町の道の駅で募金・チャリティー演奏を実施

- 個人
- セイコーインスツル(株)



東日本大震災復興支援ライブ「My Pace 2012」を盛岡市で開催

- 個人
- セイコーインスツル(株)



「復興アクション」キャンペーンに参加

- セイコークロック(株)



宮城県災害復興ボランティア活動に参加

- 個人
- セイコープレジジョン(株)



岩手県宮古市「しあわせの大漁旗コンサート」に協賛

- セイコーホールディングス(株)



那須塩原市長寿センターで炊き出しに参加

- 労働組合
- セイコー NPC(株)



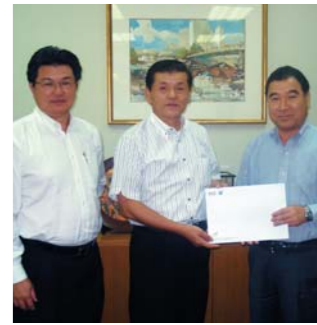
気仙沼写真真救済プロジェクトを支援

- セイコーホールディングス(株)



東日本大震災復興サポートツアーに参加

- 個人
- セイコーウオッチ(株)



シンガポールで東日本大震災 義捐金募集活動を実施

- セイコーインスツル(株)

## その他の活動

募金や物資支援、ボランティア、チャリティーなどの活動に加え、国際人道支援組織などを通じて被災者の方々のご要望を確認し、掛時計・目ざまし時計などのクロック約3,700個を寄贈しています。(2012年9月末現在)

### 主な寄贈先

- ・石巻市仮設住宅
- ・石巻市社会福祉協議会
- ・東松山市社会福祉協議会
- ・山元復興応援センター (宮城県亶理郡)
- ・福島県災害対策本部 (浪江町、葛尾村、楢葉町)



被災地各地へ寄贈したクロック

セイコーホールディングスグループでは、東日本大震災復興支援プロジェクト「SEIKO 130 Actions」を展開しています。「SEIKO 130 Actions」は、2011年に創業130周年を迎えたセイコーホールディングスグループが、東日本大震災の被災地復興に貢献すべく、2014年3月10日までの3年間で130以上の支援プログラムを実行していくことをめざしたプロジェクトです。会社としての取り組みだけでなく、有志のグループ・個人で行う支援もプログラムに加え、各々が自己申告、社内登録して実施するもので、全社員・全社一丸となって取り組める活動として推進しています。

